

| ①病院名 | ②H29 病床数 | ③2025年 の病床数 | ④再検証対象該当理由 |
|-------------------|-------------|----------------|---|
| 台東区立台東病院 (台東区) | 120床 | 120床 | A「診療実績が特に少ない」 及びB「類似かつ近接」 (高齢者医療は評価外) |

| ⑤公的資金の投入状況 <自治体や国からの繰入金、運営費補助、交付税交付金等（経営補助・損失補てん的資金）を記載> | | | |
|---|---|-------------|----------------------------|
| 投入状況 (記載) 有or無 | 有 | 名称 ※有の場合 | 指定管理料（運営費補助 令和元年度 1,853万円） |

病院の特色について

1 「得意とする」「重点的に取り組んでいる」主な医療の内容

台東区立台東病院は、高齢者医療を担う拠点病院として、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう支援する」役割を担っている。

具体的には、急性期、回復期、慢性期の病床を有するケアミックス機能を最大限に活用し、大学病院等からの専門的治療後の患者の受入、在宅療養患者や区内介護施設入所者の急性期疾患（肺炎、心不全、骨折等）の受入、さらに、他の施設等で受入困難な終末期や多臓器疾患・障害を有する患者の受入を行っている。

また、併設する老人保健施設と連携し、医療・介護の一体的運営により、看取りなどの地域内で最期を迎えられるケアや退院支援を実現できるよう取り組んでいる。

2 地域の医療機関との連携の状況（例：高度急性期病院との連携、地域の診療所との連携）

高度急性期病院との連携については、近隣の大学病院（東京大学・東京医科歯科大学・日本医科大学等）の連携室と協力することにより、スムーズな患者の紹介・受入を行なえるよう努めている。

地域の診療所との連携については、下谷・浅草医師会と情報共有を図り、患者の紹介・受入や、CT・MRIの共同利用など、区内診療所との連携を進めている。

また、区内の他の病院との連絡会を定期的に開催し、患者の紹介・受入はもとより災害時の連携や課題などについて、協議や情報共有を行っている。

3 その他、病院の特徴的な取組

設立の経緯については、かつて120床の都立病院であったものを、平成21年に区立病院として開設する際に、一般病床を40床と大幅に削減し、療養病床への転換（回復期40床、慢性期40床）を行っている。

現在、高齢者医療を担う拠点病院として、病床利用率は9割を超え、入院患者の約9割は70歳以上であり、地域にとって不可欠の病院となっている。

また、総合診療専門医の研修基幹施設であり、専攻医2名、初期研修医1名が研修中である。